

議題 令和元年度 地方創生推進交付金に関する事業評価について

対象事業の名称	御宿町生涯活躍のまち推進事業	当初予算:	29,320,000円			
		執行済額:	18,283,225円			
		国庫補助金:	7,269,343円			
事業概要	御宿町の課題である人口減少、高齢化、そして経済の活性化に対応していくため、地域の自然環境や都心に近い地理的条件、農産物・海産物などを活かしながら、地域住民をはじめ、大学や高校、企業などと協働・連携し、御宿町に暮らす者並びに訪れる者が、年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、皆が心豊かに暮らすことができる「生涯活躍のまち」を目指す。					
令和元年度の 取組み内容	1. 生活支援・支え合いサービス事業 388,500円 2. 多世代交流の仕組みづくり 4,618,553円 3. 特産品の開発事業 3,450,675円 4. 移住・交流促進関係 9,825,497円 5. 情報発信サイト構築 0円 6. サービス付高齢者住宅事業者・介護事業者等誘致セミナー 0円					
施策評価	本事業における重要業績評価指標(KPI)			令和元年度における実績値		
	指標	単位	目標値 (R1)	実績値 (R1)	事業効果※2	
	指標①	移住者の数(新規)	人	3	0※1	目標値の達成は5割未満
	指標②	移住相談者の数(新規)	人	25	59	目標値を達成
	指標③	交流サロン利用者の数 (延べ人数、年間)	人	1,100	1,027	目標値の7割以上達成
指標④	就業者の数(新規)	人	0	0	—	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金が令和2年度で終了するが、自立して運営できる事業にはなっていないため、縮小せざるを得ない。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため、この事業のメインである「交流」ができづらくなっていて、事業の実施が難しい。</li> <li>・交流サロンの立ち上げや交流プログラムを実施したが、人材の育成や担い手となる組織の立ち上げには時間がかかることが予想される。</li> <li>・特産品の開発については、町の産業となることや、自立した運営になるまでは時間がかかる。</li> <li>・情報発信サイト構築については、協議会が立ち上がったものの、解散となってしまった。再度の事業立ち上げには難しい状況である。</li> </ul>					
事業実績・ 今後の予定	新型コロナウイルス感染防止のための「新しい生活様式」を取り入れながら、事業を進めていきたい。 人材育成にも力を入れて、持続可能な事業実施手段を確立したい。また、地域の自主的な取組みの補助や地域おこし協力隊などを活用して、さらなる実施団体との連携強化に努めたい。					

※1 移住者の数(新規)・・・この事業によって移住されたかどうか調査する手段がなかったため0とした。  
 (令和元年度における社会増減は-20人であった。)  
 お試し居住事業利用者が、R2に転入(2名)されています。

※2 事業効果・・・①:「目標値を達成」、②:「目標値の7割以上達成」  
 ③:「目標値の5割以上達成」、④:「目標値の達成は5割未満」